



蒲生高校だより

第11巻 第1号 (通巻第31号)
発行日 平成24年7月20日

鹿児島県立蒲生高等学校
鹿児島県始良市蒲生町下久徳848-2
電話 0995-52-1155(代) FAX 0995-52-1161
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/



「打ち込む」こと

校長 諏訪 蘭 博志

私たちはよく「会心の作」「会心の当たり」「会心のシュート」といった言葉を耳にします。

芸術やスポーツに限らず、全てで思い通りの成果を得るということは容易ではないと思います。それでも限界を極めようと、コンマ1秒、コンマ1ミリにすべてをかけて精進していく、そこに人間としての姿があるのではないのでしょうか。

お互いの日常は、そこまで究極の世界に生きている

わけではないです。しかし、勉強でもいい、部活動でもいい、趣味でもいい、やはり一つのことを極めようと心に決めて打ち込むことも必要です。何事にもそうして徹底して取り組んで、初めて奥深さや面白みが感じられるものだと思います。

技術の向上や、精神が鍛えられるだけではありません。全力を尽くした後の充実感と意欲が湧いてきて、毎日の生活に張り合いが生まれてくるものだと考えます。

毎日を、「我ながらよくやったな」と自分で自分の頭を撫でてやりたいと思いながら眠りにつくことができる、これに過ぎる幸せはないのではないのでしょうか。

蒲生高校というステージで、「打ち込む」自分を創造してってください。

ようこそ 蒲生高校へ

今年度新任の先生方



校長
諏訪 蘭 博志



国語
神田 耶子



数学
米山 章一



理科
森山 陽介



音楽
福森 利孝



美術
大野 麻衣



書道
山内 紀隆



商業
田中さおり



商業
武石 乙生



商業
穴田 秀忠



養護
福田よしの



家庭
中原 直子



事務
池田 睦子



図書司書
相良 美晴



命をつなぐ 普通救命講習

7月6日(金)～7月10日(火)

1年生全員

平成19年度から、始良市消防本部蒲生分遣所の協力で、1年生全員が「普通救命講習」を受講しています。

心肺蘇生法やAEDの使い方などの救急処置技術を学び、万が一の事態にも具体的に動けるようになります。

3時間の講習、効果確認テストに合格すると「普通救命講習認定証」を取得します。

自信を持って、「命のリレー」の一助になってほしいと願っています。



頑張っています

◎ハンドボール部

始良伊佐地区春季体育大会 (5/8～5/9) 第3位

県高校総合体育大会

ハンドボール競技大会 (6/5～7) ベスト4

◎バドミントン部

始良伊佐地区春季体育大会 (5/8～5/9)

男子シングルス 優勝 田中 将明(情3-4 吉田南中)

男子ダブルス 第3位 田中 将明, 倉元 惟気(普3-2 龍南中)

◎ソフトテニス部

始良伊佐地区春季体育大会 (5/8～5/9) 女子 団体 第3位

◎ワープロ部

鹿児島県高等学校ワープロ競技大会 (6/3)

ワープロ技能の部 団体 優勝

個人 優勝 吉留 彩華(普3-2 吉田北中)

第5位 枇杷 祈里(普3-1 吉田北中)

20年連続九州大会へ

3年生2人、2年生2人、1年生2人で活動しています。連続九州大会出場の内伝を守り、今年度で20連覇です。「正確な入力」を目標に、「継続は力なり」を心がけて日々の練習に取り組んでいます。

団体・個人ともに、7月25日に、長崎県で行われる九州大会に出場します。(6月16日の南日本新聞でも紹介されました。)



出水 美里さん

◎弓道部

鹿児島県高等学校弓道競技大会

(5/31～6/1)

個人戦 第5位 出水 美里(情3-4 帖佐中)

女子は部員が少なく、団体戦に出場できませんでしたが、個人戦に4名が出場しました。その中で1人勝ち進み、決勝に進出。

持ち前の集中力と粘り強さを発揮し、約300名の出場者の中で、みごとに第5位入賞を果たしました。

7月14日から熊本県で行われた九州大会に出場しました。

